

戦争について知らなかったこと

・戦争でどのようなことが行われたのか

・市民にどのような影響が出たのか

など様々なことを詳しくかつ分かりやすく私たちに説明して下さったので戦争中の日本がどのような状態にあったかなどがわかりやすかったです。

三輪車・お弁当箱のストーリーのある遺品を見て、戦争の残酷さがよくわかりました。これからは、戦争経験者から直接話をきける最後の世代として、戦争を後世に語り継がなければならぬと改めて実感しました。

「一つ一つの新聞名に意味が込められていて、私たちには分からない怖さを体験した方々の思いがどんどん色んな人に知ってほしいと思いました。

今は写真を見るだけでぞわぞわするけど、その時はそれが普通だと思うと『昭和→現代で変わったことが沢山あるな』と感じました。

・中3の方たちが、私たち小学生にわかる新聞を作ってくださって、前よりもっと原爆の恐ろしさを感じました。

・原爆での、お弁当箱や三輪車の話を聞いて、かわいそうだなと思いました。

・今楽しく幸せに生きることが当たり前ではないことを、改めて思いました。

・中3の方たちもおっしゃっていた、原爆を経験した人たちから聞いた話などを私たちが語り継がなければならないということを聞いて、私たちがもっと原爆について学び、次の世代へ語り継いでいきたいなと思います。

中3のお姉様方が、平和記念資料館に行き私達が知らなかったことまで教えて下さいました。驚いたのは兄と死んだ弟の写真、今の時代ではあり得ない画像ばかりでした。小学生くらいの男の子も、鉄砲を撃つ練習をしていたのも驚きでした。何年も前の焼けたお弁当、三輪車が残ってあるのが凄いと思いました。

戦争を経験した方達が少なくなっている。と言われ私は戦争を経験した方達から話を聞き、次の時代に伝えていかなければならないと思いました。

中 3 のお姉さんたちの発表を全て見て、わたしは、戦争について「もう、全ての人を傷つけることはしてはならない。」と思いました。具体的に三輪車の遺品、食べるのを楽しみにしていたお弁当とその箱が生々しく残っていて胸が苦しくなりました。

そして、今の私たちの暮らしの中にある「当たり前」は戦争当時で考えると「当たり前」ではないんだなと思いました。この学習を始めるときは、「ああまた色々な話を聞くんだなあ」くらいの軽い気持ちだったけれど、今は「たくさんの戦争の話を聞いてよかったな」と思えました。さまざまなことを少しでも理解出来て嬉しかったです。

新聞を読み思ったことは、私達が想像もできない、原爆などの恐ろしさが伝わってきたことです。中 3 の方達は、広島に行き原爆ドームに展示してある三輪車やお弁当などのことを分かりやすく話して下さいました。実際には見ていないけど原爆などから残っている物の写真からは、本当に恐ろしさが伝わりました。私は中 3 の方達が作ってくださった新聞を読んで、これからも何が起こるのかわからないし、過去に原爆などで亡くなった方達の思いなども、広島原爆ドームに行ってみて新聞に書いてあった記事のことも、知らないことも、もっと調べたりしようと思いました。

とても中学 3 年生のお姉様方の説明や内容文章がすごいなと思いました。この新聞を見て中学 3 年生のお姉様方を尊敬しました。私もお姉様方のような説明力や文章力を身に付けたいと思いました。

今回の「平和学習」という授業では、中 3 のお姉様方が作ってくださった新聞に載っていた写真や絵、初めて聞くものがたくさんありました。

その新聞記事には、戦争を経験した方が語っていらっしゃいました。戦争をして特する人なんて居ないと思います。戦争はあっては良く無いことだし、誰も、もう一度起こしたいと思う人は居ないと思いますが、二度と戦争が起きない様に、皆んなで語り継がなければいけない様な気がします。

自分の曾祖父が、満州（日中戦争）から帰っていなかったら、自分や、家族はいなかった、と教えられてきたので、「今の幸せがいつ壊れてもおかしくない」という言葉が心に染みました。

同時に、我慢することも教えられてきたので、何もなく、我慢せざるを得ない状況だったということは、いつもの自分よりも苦しかったことを想像すると、胸が痛みました。

もともと戦争は怖いということは知っていたけど、今回の平和学習で、具体的にどのようなことが起きたのかが分かって、改めて戦争の怖さがわかりました。もっと語り部の方の話を聴いたりして、次の世代へ戦争について伝えられる知識をつけたいなと思いました。

私はもともと曾祖父や、曾祖母の体験談を母から聞いていたので、戦争を行ってはいけないと思っていましたが、語り部の方の体験談や中学校 3 年生のお姉さんが作ってくださった新聞に載っている遺品の写真などを見て改めて戦争は良くないと思いました。

また、今回のように語り部さんから聞いた話を私たち後の世代に伝えることがこれから戦争を起こさないようにして、今家族や友達と暮らすことができているという今の「平和」を壊さないようにするのが大切だと思いました。

中学校 3 年生のお姉さんが作った新聞にも載ってたように私たちの世代が戦争を体験した方の話を聞くことができる最後の世代です。なので、私たちが中学生になって今回のような授業があった時には私たちにもできる『語り継ぐ』ということをして戦争の悲惨さと、二度と戦争を起こしてはいけないということを伝えていきたいです。

今回、中学 3 年生の方達と zoom で合同授業を行なってみて、曾祖母が話していた自由もなく、ただ自分が生き延びてほしいと毎日毎日願っていたという話を聞いた当時は今では想像もできなかったのかわからなかったけど中学3年生の方達の新聞で、語り部さんの話や遺品などが載っていたので本当に昔の日本であった出来事なんだなと思ったし、子供達も戦争のせいで被害に遭ったという事も実感しました。

それと、日本だけが被害にあったんだと思わずに、外国も日本によって被害を受けたという事も頭に入れておこうと思いました。

中学 3 年生の人たちが作ってくれた新聞を読んで、あらためて戦争(原爆)で自分の生活や大切な人を簡単に消してしまうので、本当に怖いです。

もし、自分も戦争をしている時代に生まれてたらと想像すると、夜も眠れないと思います。

このようなことを考えると今の自分は、どれだけ平和な世界にいるのだろうと思います。

また、戦争を経験した人の話を聞いて、戦争の恐ろしさや、悲しさを伝えていきたいです。

そして、この世界から戦争がなかったら、戦争で亡くなった方も幸せに暮らせていたと思います。

なので私は、戦争がなかったらなと思います。

中学生の方々に戦争の事を教えてもらいとても勉強になりました。戦争時は食べ物も無く餓死で亡くなった方々もいらっしゃったなんて、驚きました。

そして、戦争で奪われた物は命だけではなく

「日常」「家」「町」

なども奪われた事が分かりました。

私達は、すぐにご飯がお腹いっぱい食べれて暖かい家で過ごさせています。

ですが、一瞬で町は崩壊家も無くしご飯も無い常に隣には死の恐怖。私は、そんな日々想像もつきません。

毎日、当たり前友達に会えて美味しいご飯を食べれてる事に改めて感謝しようと思いました。

私の父の祖父は戦争に何度も連れてかれていました。生きて帰ってこられていたので戦争で亡くなる。と言う訳ではありませんでした。

ですが、曾祖父は何度も「女性に生まれたかった、生まれ変わったら女性が良い」と言っていたらしいです。

今思うと女性は、戦争に連れていかれないからか。と気づきました。

戦争の事。知れて良かったです。次世代に語り継いでいこうと思います。

中学３年生のお姉様方の発表の全てを見て、私は「戦争は、良くない」と思いました。

理由は、原爆、戦争で色々な人々が亡くなったり、自分が大切にしていた物や、自分の命を落したり、とても今では、あり得ないことです。

もう一つは、食べ物です。

今では、ご飯を食べれます。ですが、戦争中では、ご飯は、食べられなくて苦しんでいた、餓え死にしたりしたり、食べ物を盗んだり、

今では、ありえないことですね！

おばあちゃんの体験話によると、

小学１年生だったらしく、戦争中は、防空壕や、おしりれにお兄ちゃんと隠れていたみたいで、怖かったみたいです。自分のものが焼けて無くなったりしたと言っていました。今でもおばあちゃん家に、防空壕は、あるらしいです。

小学生にショッキングなものではなく、優しいものなので新聞が見やすかったです。

今思うと、戦争のことが平和学習の前よりも、重く感じました。